

# やまがたで農業をやってみませんか ～就農までのステップ～

山形県では、豊かな自然と四季の変化から、食味の良い米や果樹をはじめとした美味しい園芸作物、名高い「米沢牛」を生産するなど多彩な農業が営まれております。

近年、県内外のサラリーマンや農業未経験の方で農業を始めたいという方も増えております。次のステップにより、山形の地で、あなたも農業にチャレンジしてみませんか。

## 第1歩

### 就農情報・基礎知識の収集を行きましょう。

「農業をはじめたい」と思ったら、まずは就農相談をしてみましょう。どのような農業がやりたいのか、そしてそれを実現するには何をどう準備すればよいのか。就農相談が就農への第1歩です。相談窓口で農業を始めるために必要な情報を収集しましょう。

- ①(財)やまがた農業支援センターの相談窓口を訪ねる。
- ②(財)やまがた農業支援センターホームページなどで情報を収集する。
- ③首都圏などで定期的に開催される「新・農業人フェア」などの就農相談会に参加する。
- ④(財)やまがた農業支援センターが実施する農業体験バスツアーや農業短期体験プログラムおよび農業ワーキング・ホリデーに参加し、農業への理解を深める。
- ⑤農業の職業に関する求職、求人については(財)やまがた農業支援センター・無料職業紹介所に相談する。

## 第2歩

### 目指す農業経営のビジョンを明確にしましょう。

農業をはじめするには、自分のやりたい農業のイメージを具体的に持つことが大切です。いつ、どこで、どのような農業をはじめるとか、という目標と、それを実現するための方法を就農計画として作成してみましょう。

- ①どんな作物を栽培するのかを決めましょう。
- ②経営タイプ(専業経営か複合経営か)を決めましょう。
- ③栽培方法(露地栽培か施設栽培か)を考えましょう。
- ④就農候補地を検討しましょう。
- ⑤就農計画を作成し認定就農者になりましょう。

### 第3歩

## 農業技術やノウハウを習得する。

山形県内の農業法人、先進農家、農業大学校、県内試験研究機関の何れかで、農作業実習を通じて就農に必要な基礎技術を習得しましょう

- ①「実践農業研修」(財)やまがた農業支援センター)
- ②「新規就農実践研修、実践コース・基礎コース」(山形県立農業大学校)。
- ③「農業大学校・養成部」、「新規就農支援研修:実践コース・基礎コース」、「農業ビジネス支援研修:新分野導入コース・農産加工(基礎)コース」、「夜間講座」、「免許取得・経営戦略研修」(山形県立農業大学校)
- ④「農業経営実践講座」(各農業技術普及課)
- ⑤「農業研修生海外派遣事業」(国際農業者交流協会)
- ⑥「農村青少年教育に関する各種研修」(全国農村青少年教育振興会)サポート
- ⑦「海外研修支援事業」(財)やまがた農業支援センター)
- ⑧「就農研修資金」(財)やまがた農業支援センター)

### 第4歩

## 土地、労働、資金等を確保しましょう。

農業を始める場合、農地の確保と労働力の確保が必要になります。更に、資金として、種苗、肥料、農薬などの資材購入費、ハウスなどの施設資金や農機具費が必要になります。また、生活資金も必要になります。

- ①農地を確保するには、先ず市町村農業委員会に相談しましょう。農地確保の目途ができている場合には農地法による市町村農業委員会の許可を得る。
- ②労働は家族労働が基本になります。
- ③自己資金は生活費を含め十分に確保しておきましょう。
- ④営農計画を実現するため融資制度、支援制度を活用しましょう
  - ・就農準備資金:(財)やまがた農業支援センター)
  - ・就農施設等資金:農協等融資機関
  - ・新規就農条件整備支援事業:(財)やまがた農業支援センター)
  - ・新規就農定着サポート事業:(財)やまがた農業支援センター)
  - ・経営体育成交付金:県、市町村

### 最終歩

## さあ、農業を始めましょう。

農業を始めていくと栽培技術や資金面などでいろいろな課題が生じてきます。そこで、県をはじめ各農業技術普及課、各農業振興課、農業大学校、市町村、農業協同組合などの関係機関では、新規就農者に対する支援活動を行っております。

- ①農業技術普及課(県総合支庁内)  
就農者に対して技術や経営方法について個別指導の支援活動を行います。
- ②農業協同組合  
営農指導員が技術・経営指導を行います。農業資材の斡旋、農畜産物の集荷・販売・資金融資などを行います。
- ③(財)やまがた農業支援センター  
農業経営の向上に必要な各種研修会を実施しています。